

## 第1 東京都における動物愛護管理施策を取り巻く状況

動物の飼養形態や社会環境の変化により、こう傷事故の増加や飼養トラブル、災害・感染症対応などの課題が顕在化

### 犬猫の個体数推計

- ・犬 約57万頭【増】、猫 約107万頭【減】

### 犬猫の入手先

- ・行政からの譲受 1%以下

### 動物による危害発生と苦情

- ・犬によるこう傷事故件数 約600件（R6年度）【増】

### 飼育動物を飼えなくなった場合の準備

- ・準備をしていない飼い主 約6割

### 動物の捕獲・収容、引取り

- ・年間528頭（R6年度） 減少傾向

### 動物の返還、譲渡、致死処分

- ・引取り収容後に死亡した動物数 151頭（R6年度）  
〔・苦痛からの解放など動物福祉等の観点からやむを得ず処置 60頭  
・傷病等により死亡 91頭 ・殺処分 0頭：平成30年度よりゼロを継続〕

### 動物取扱業に関する状況

- ・第一種動物取扱業登録施設数 5,387施設【増】

### 動物由来感染症対策

- ・狂犬病予防注射接種率 69.4%（R6年度）【減】

### 災害時に備えた対策

- ・ペットに係る災害対策を行っていない飼い主 約3割

### 都政への要望

- ・犬の登録や狂犬病予防の徹底、ペット業者に対する監視指導 等

## 第2 動物愛護管理推進計画に基づく各施策の取組状況

推進計画に基づく取組により、致死処分数の減少など一定の成果は得られている一方、社会状況の変化を踏まえた対応の深化が必要

### 動物の適正飼養の啓発と徹底

- ・イベントや動物情報サイト「ワンニャンとうきょう」などにおける適正飼養等に関する情報発信
- ・区市町村と犬の登録や狂犬病予防接種に係る課題や対応の共有
- ・地域における相談支援体制整備の促進
- ・小学校等での動物教室の実施

### 動物の致死処分数の更なる減少を目指した取組の推進

- ・地域の飼い主のいない猫対策への支援
- ・動物愛護相談センターの飼養管理環境整備
- ・譲渡促進月間での広報

### 事業者等による動物の適正な取扱いの推進

- ・デジタルツールを活用した監視手法の検討
- ・オンライン形式の動物取扱責任者研修開始
- ・不利益処分等取扱要綱等の改訂
- ・業態の多様化に応じた啓発や監視指導
- ・自主管理点検票の見直し

### 動物由来感染症・災害時への対応強化

- ・狂犬病発生時対応訓練の実施
- ・動物由来感染症に関する調査及び啓発資材の作成
- ・動物及び防災の行政担当者向けにペット防災に係る講習会の実施
- ・災害時動物ボランティア養成研修の実施

### 第3 東京都における今後の動物愛護管理行政のあり方

「人と動物との調和のとれた共生社会の実現」に向け、既存施策の成果を基盤にしつつ、社会状況等の変化やワンヘルスの理念※も踏まえ、動物愛護管理施策を一層推進

#### ○主な取組

#### 1 動物の適正飼養の啓発と徹底

<飼い主責任の明確化と、万が一に備えた準備に関する情報提供の強化>

- ・ワンヘルスの理念を踏まえた適正飼養の更なる啓発と徹底
- ・区市町村等と連携し、終生飼養や万が一に備えた準備等の啓発強化
- ・こう傷事故防止や狂犬病予防接種徹底を推進
- ・全区市町村においてペットに関する相談や支援を受けられる体制が整備されるよう支援
- ・多頭飼育問題等に関する関係者（動物愛護管理・福祉・警察等）間の連携事例蓄積と情報共有を一層促進

#### 3 事業者等による動物の適正な取扱いの推進

<事業者数増加や業態多様化を踏まえた効果的・効率的な監視指導體制の充実>

- ・人員、運用面の体制確保を図るとともに、タブレット端末や画像記録等の活用による効果的、効果的な監視手法を推進
- ・販売時の事前説明を含む法令遵守の徹底や新たな法規制の周知を強化
- ・業態の多様化や事故発生時には、期間や対象を限定した監視指導や啓発による対応を検討

#### 2 動物の致死処分数の更なる減少に向けた取組の推進

<引取・収容数の減少と譲渡促進を両輪とした総合的な取組の継続>

- ・動物愛護相談センターにおける治療技術・トレーニング能力の向上により譲渡を一層促進
- ・「動物譲渡促進月間」等の重点広報や大学協働事業による普及啓発、動物情報サイト「ワンちゃんとうきょう」での情報発信を充実
- ・譲渡トラブル防止に向けた対応事例の集積及び啓発への活用
- ・引取数の更なる減少の方向性を維持しつつ、指標としての取扱いは引き続き検討

#### 4 動物由来感染症・災害時への対応強化

<平時からの備えと、都民・関係機関にとって必要な情報の発信強化>

- ・動物由来感染症に関する発生状況等の実態把握や調査研究の促進とその結果やワンヘルスの理念を踏まえた予防啓発を徹底
- ・飼い主以外を含む都民全体に対し、同行避難の意義や日頃の備えに関する啓発を一層強化
- ・区市町村の同行避難訓練等を支援するなど避難所運営支援を強化
- ・国のガイドライン改訂等も参考に、都の災害対応マニュアルのアップデートを検討

※ワンヘルス：人、動物、環境の健康を一つとして捉える考え方